

水源

第65号

西岡地区町内会連合会

2023 7

新任のご挨拶

西岡地区町内会連合会

会長 沼田泰昌



押木正康前会長の後任として、5月17日開催された西岡地区町内会連合会において選出されました沼田泰昌（ぬまたやすまさ）です。前会長は、平成28年5月から西岡地区町内会連合会会長として7年間、卓越したリーダーシップを発揮され、西岡地区町内会・自治会の様々な課題解決に鋭意取り組まれ、地域の発展に多大な貢献をされました。心から感謝を申し上げます。

ここ数十年の間に政府の働き方改革など、世の中の情勢が大きく変わり、私の時は60歳定年制でしたが、現在では65歳から70歳と延び、就労者世代が高齢

化している所です。どこの町内会・自治会も役員の担い手がなく苦慮しています。

また、各行政機関からは、多種多様な要望依頼事項が増加しつつあり、何とかしたいと思うのですが、現在のままでは西岡地区町連も限界に来ていていると思います。

私の就任に当たり業務等も少しずつ改善を

図り、ゆとりある体制にするべく、微力では在りますが、その責任を精一杯果たすつもりです。

町連は各単位町内会

令和5年度定期総会開催

5月17日(水)、にしおか会館において、西岡地区町内会連合会定期総会が開催されました。

・自治会あつての組織です。住民並びに理事、町内会・自治会役員の皆様には、今後ともご協力宜しくお願いいたします。

されました。役員改選にあたっては、新任理事7名を含む26名が選出されました。

ワンショット・にしおか



カラスに おそわれないために

- ◎背中をみせない
- ◎傘や手を頭より上にかざす
- ◎親子カラスからから離れる



新型コロナウイルスは「5類感染症」に引き下げられ、各町内会・自治会活動も活発になると予想されます。新会長となった新しい体制で、今後も各事業を工夫して実施していきます。



感染対策と今後の活動

まちセン所長

青田直子さん

令和5年5月8日より、新型コロナウイルスの位置づけが「5類感染症」に移行され、これに伴い、基本的な感染対策は個人や事業主の判断に委ねられることになりました。周りではマスクを外して活動する人も多く見られるようになり、以前の光景が少しずつ戻ってきたのはとても喜ばしいことです。それでも、新型コロナウイルスがゼロになったわけではありません。手洗い等の手指衛生や換気は感染対策として引き続き有効であり、また、高齢者や重症化リスクの高い方は混雑した場所を避けることも推奨されています。今後も感染対策の意識を持って、町内会活動や地域活動を再開していきます。

札幌大学大学祭 de

第1回「にしおか地区まつり」

主催 西岡地区町内会連合会
西岡商工振興会



鳥のキッチンカー、露店。

さながら16日までの「札幌まつり」の延長、中島公園の露店のミニミニ西岡版。子ども縁日コーナーでは、キックターゲット・輪投げ・魚釣り・健康パーク・ヨーヨーすくい・ダーツ。どのコーナーも大歓声。

さらに、健康測定コーナー、ミニうちわ作り、

お待たせしました。コロナ禍でここ3年もの間、中止を余儀なくされていた以前の「にしおか夏まつり」が復活。

前回までは駐車場でしたが、今年は大学構内に会場を移して大学祭と連携、6月17日(土)に催されました。

正門から町連と学生のテントが並び、インドカレー・中華・焼き



草の実会の手作り販売があり、屋台で買い物をし、スタンプ集めてガラポン抽選会、豪華景品を当てる方も。

札幌大学の絶大なる協力のもと、幅広い世代の方々で大いに盛り上がりました。

次回もコロナに負けず、多くの皆様が参加できる手作りの地域まつりをめざしていきます。

わが町点描

世にも不思議なポスト

西岡の郵便ポストを調べてみると17ヶ所ある。もちろん2局の郵便局は別にして、コンビニ、ショッピングセンターや札大構内など。その中で変わった場所にあるのが民家の前。3件あるが、以前あった酒屋などが廃業し、近くに設置したのが真相なのだろう。しかし、西岡3条10丁目にあるこのポストは一風変わった所にある。なんと民家の門柱の上に鎮座しているのだ。機会があればいきさつを聞いてみたいものだ。ちなみに私はここをよく利用している。



ふれあい

西岡地区
青少年育成委員会

いよいよ活動再開

令和2年から3年間にわたるコロナ禍により、西岡地区青少年育成委員会の活動も様々な制限を受けてきました。この期間、インドア雪合戦をはじめとする多くの事業が中止となりました。

新型コロナウイルス感染症は、インフルエンザ並の「5類感染症」に移行されました。このため、制限の緩和が進み、当委員会も今年度事業は、夜間公園パトロール、青少年を見守る

店訪問、各種研修などの活動を計画しています。平成18年から数え14回続いたイ



インドア雪合戦は、町連青少年児童部との話し合いで、残念ながら中止となりました。子どもたちに喜ばれてきた競技に代わる何かを、この1年、町連青少年児童部の他、いろいろな方々の意見を取り入れながら、委員一同、考えていきます。

福まちびらば



西岡地区社会福祉協議会
(福祉のまち推進センター)

「西岡げんきランド」ピクニック～総勢28人参加 快晴の中 西岡ぬまた公園に歓声響く！！

6月1日(木)、朝から青空のもと「げんきランド」ピクニック行事はスタート。ぬまた公園の遊具広場には、10組の親子とボランティア8人が集合。集まった子どもたちは1～2歳児が中心。

区の子育て支援担当の皆川保育士の声かけにより、アンパンマン体操で元気いっぱい体を動かし、シャボン玉飛ばしで黄色い歓声をあげて、大賑わいとなりました。

プログラムの「宝探し」は、坂の上に作られたあずま屋まで登って「アンパンマン」のお面をかぶったおじさんから、おみやげをもらい大喜び。(中身は風船や折り紙、シール、幼児用マスク等)

当日は、真夏日に近い気温で、陽光を浴びながらブランコや鉄棒などで遊ぶこともでき、楽しい1日を過ごすことができました。



町連通信

町連の日常活動やこれからの行事などをお知らせします。



☆待ちに待った大運動会☆

5月27日(土)西岡地区小学校3校の運動会が行われました。早朝の曇り空から一転、開始時刻には青空が広がり、絶好の運動会日和となりました。西岡小学校では3年ぶりに観客の制限がなくなり、今まで応援に行けなかった人も大勢来ていて大賑わい。卒業生も楽しそうに観ていました。

徒競走ではそれぞれが自分の力を一杯発揮しました。表現は、学年で3ブロックに分かれての発表。1・2年生は見ているだけで笑顔になり、3・4年生はよさこいソーランを格好良く踊り、5・6年生はさらに難しい振り付けを、おそろいの西岡半被で力強く心を合わせて踊っていました。玉入れ、台風の目、全員リレーの団体競技は、仲間との絆を深め、大いに盛り上がりました。

マスクをはずした児童の笑顔、応援合戦での大きな声、観客席のわれんばかりの声援、午前だけの開催になりましたが、「以前はこうだったよな」と思い起こさせる大運動会が復活です。

交通安全街頭啓発

例年と同様、今年も交通安全街頭啓発運動を実施します。4月は小学校の入学式に合わせ学校の近くで行いましたが、5月～11月は水源池通りで行います。暖かくなつて外出する機会も増えてきますが、事故には十分気をつけてください。

☆音楽の日☆

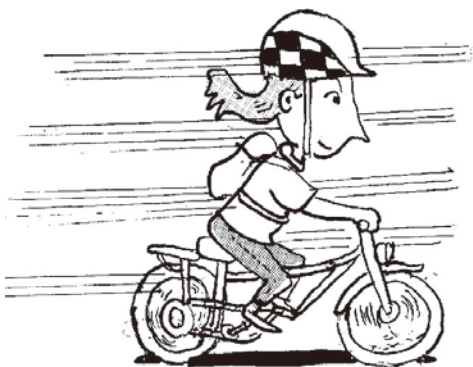
6月3日(土)午後1時30分スタート 西岡福住地区センターで開催されました。

今回で第4回目、北海学園大学&日本医療大学の「生きのいい音楽」を楽しめました。入場自由、次回も楽しみに待っていてください。

自転車にヘルメット着用努力義務化!

「自転車に乗るときは、ヘルメットを着用しよう」ということです。しかし、努力している人は稀、相変わらずヘルメットどころか歩道を傍若無人に通行、無灯火、車道を逆走、まさに無法状態。

ところが、先日素敵なヘルメットをかぶりゆつくり走行する女性を見ました。なんて美しい姿だと思いました。努力ではなく、完全義務化しないとこういう風景は無理ではないでしょうか。



編集後記

コロナが収まってきたし、歯の方もだいぶガタついてきたので、先日、3年ぶりに歯科医院に行ってきた。

歯医者さんもしっかり感染対策をしているとはいえ、「なんだか嫌だなー」ということで、すっかり間が空いてしまった。「しばらく来ていなかったもんで」「そうですね、5年以上になりますね」「エッ! 5年? エー!」、コロナは濡れ衣で、単に行きたくないからでした。このところ思い込みと、さぼり癖が目立つ私、この度新米の広報担当理事を拝命しました。大丈夫かな?

(康)

広報誌 水源 第65号
発行 西岡地区町内会連合会
豊平区西岡4条5丁目8-121
電話 85410357
編集 広報部
印刷 北晃社齋加印刷所